

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

|使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ダイレックス高陽店 新築工事	階数	地上1F
建設地	広島市安佐北区落合五丁目16番1	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	638 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年11月 予定	評価の実施日	2025年5月18日
敷地面積	6,222 m ²	作成者	株式会社 若本建築事務所
建築面積	2,442 m ²	確認日	2025年5月19日
延床面積	2,427 m ²	確認者	株式会社 若本建築事務所
			

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 138 184 230 276 322 368 414 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境 Q2 サービス性能 Q3 室外環境(敷地内) LR3 敷地外環境 LR2 資源・マテリアル LR1 エネルギー

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.1

項目	スコア
音環境	2.6
温熱環境	3.3
光・視環境	3.0
空気質環境	3.4

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.2

項目	スコア
機能性	3.0
耐用性	3.2
対応性	3.4

Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 2.1

項目	スコア
生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・景観	2.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.4

項目	スコア
建物外皮の断熱性能	5.0
自然エネルギーの活用	3.0
設備システムの効率化	5.0
効率的なエネルギー利用	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.4

項目	スコア
水資源	3.4
非再生材料の削減	3.3
汚染物質の削減	4.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.6

項目	スコア
地球温暖化	4.3
地域環境	3.5
周辺環境	3.1

3 広島市の重点項目		重点項目の総平均スコア＝ 3.6	
「地球温暖化対策」の推進 スコア＝ 4.0	「ヒートアイランド対策」の推進 スコア＝ 1.8	「長寿化対策」の推進 スコア＝ 3.3	
設計の計画上特段に配慮した事項 BPIm=0.80 / / BEIm=0.63 / / ・自動水栓に加え、節水型便器の採用・長尺塩ビシート（床材）、磁器質タイル（床材） / ・LCCO2排出率=65%	設計の計画上特段に配慮した事項 /	設計の計画上特段に配慮した事項 ・ALC板50年・床：塩ビタイル20年、壁：ビニールクロス20年、天井：化粧石膏ボード30年・屋外設置ダクトはガルバリウム鋼板・給水管(VP)、排水(VP)、通気管(VP)、Eは不使用 /	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される